



## なぜ、デンマーク、オランダは幸福度が高いのか

オランダのロッテルダムにあるエラスムス大学の幸福研究の権威、Ruut Veenhoven教授が主宰する「ワールド・データベース・オブ・ハピネス」による幸福度調査は、「あなたは現在の生活に満足を感じているか」という主観的幸福感のみを基準に幸福度をランキングしている。2005年から2014年の平均値による順位は下表の通り。デンマークは2位、オランダは15位、日本は63位である。「デンマークやオランダ、そのほかの北欧・中欧諸国の場合、幸福度が高いだけでなく、主観的幸福感の個人間の格差が小さいという共通点がある」(Veenhoven氏)。幸福度の個人間格差の順位(下表、右)では、オランダが1位、デンマークは2位となっている。

この表では格差がまったくなければ0、最大で3.5。日本は米国の33位(1.92)よりも格差が大きい56位(2.04)だ。

「この数字の意味するところは、幸福度2位のデンマークは格差の小ささでも2位であるため、国民の多くの人が8.4に近い数字を付けているということです。同じ幸福度の高い国でも、3位(8.3)のメキシコは、格差順位では50位。10を付けた人も多ければ、1を付けた人も多いです」(Veenhoven氏)。デンマークもオランダも「多くの人がだいたい幸せ」で、それは仕事で収入を得るにせよ、社会保障を受けるにせよ、自分と家族の暮らしは守られていると思えることと無縁ではないだろう。

そのほかに、日本の幸福度が低く、

デンマークやオランダの幸福度が高い理由はないか、Veenhoven氏に聞いてみた。「1つは、仕事における満足感でしょう。終身雇用が幸福度を高めてくれるとは限りません。年齢や経験を重ねることで、価値観は変わる。その変化に合わせて自分に合う会社に転職していったほうが満足感が高まるのではないのでしょうか」

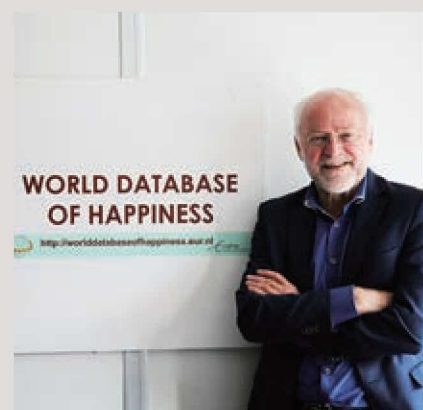
もう1つは、幸福度と社会的自由の関連性だ。「社会的自由とは、どんな行動を取っても社会が批判しない、価値観を押し付けられないということ。自分で自分の生き方を選択できるほうが確実に幸福度は高まります。デンマーク、オランダの幸福度が高いのは、個人の生き方を尊重する文化と深くかかわっているでしょう」(Veenhoven氏)

幸福度ランキング

1	コスタリカ	8.5
2	デンマーク	8.4
3	メキシコ	8.3
4	アイスランド	8.1
5	カナダ	8.0
6	ノルウェー	8.0
7	スイス	8.0
8	コロンビア	7.9
9	フィンランド	7.9
10	パナマ	7.8
⋮		
15	オランダ	7.6
⋮		
23	米国	7.3
⋮		
63	日本	6.4

幸福度格差ランキング (上位のほうが格差が小さい)

1	オランダ	1.38
2	デンマーク	1.53
3	フィンランド	1.53
4	ノルウェー	1.62
5	セネガル	1.62
6	スイス	1.62
7	コートジボワール	1.63
8	アイスランド	1.64
9	ネパール	1.65
10	タジキスタン	1.68
⋮		
33	米国	1.92
⋮		
56	日本	2.04



Ruut Veenhoven 氏

エラスムス大学教授

出典: "World Database of Happiness"